

近接効果補正システム（BEAMER）の利用に関して

平素は京都大学ナノテクノロジーハブ拠点をご利用頂き、誠にありがとうございます。

早速ですが、近接効果補正システム（BEAMER）の適正な運営維持の観点から、利用者様のご利用に関して以下の内容を追加いたします。実施は、令和4年8月1日（月）以降のご利用からとなります。ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

【 追加内容 】

1. 1 設計ファイルの利用につき、1 時間の技術補助が別途必要になります。
2. 高速高精度電子ビーム描画装置（A01、エリオニクス社製）の利用者は、原則当システムを利用してデータ変換を実施する。
3. 当システムの事前講習では、初回の利用で基本的な機能を説明する。基本機能以外の内容については、別途事前講習費が必要になります。

以上

京都大学ナノテクノロジーハブ拠点

令和4年7月28日